

表46

健常者に対する心理的ギャップの変化と現状

透析1年目 頃との比較	健常者に対して心理的ギャップを感じること ¹⁾				合計
	かなりある	まあある	少しある	ない	
健常者との心理的ギャップが和らいだ	① 9(8.0)	10(8.8)	② 21(18.6)	18(15.9)	58[51.3]
変わらない	③ 6(5.3)	3(2.7)	④ 11(9.7)	21(18.6)	41[36.3]
強まった	⑤ 10(8.8)	2(1.8)	2(1.8)		14[12.4]
合計	25[22.1]	15[13.3]	34[30.1]	39[34.5]	113[100.0]
透析歴1年未満を含む合計	27[22.5]	16[13.3]	37[30.8]	40[33.3]	120[100.0]

¹⁾ 質問文は、「いわゆる健常者の方との付き合いが、おっくうになったとか、付き合っても気持ちの上で隔たりを感じることはありませんか。」である。

注1) ()内は、113人に対する割合である。

注2) Kruskal-Wallis test; $\chi^2=22.14, df=2, p<0.001$

注3) 次の5つのパターンがみいだされた。①弱化-距離大群(19, 16.8%), ②弱化-距離小群(39, 34.5%), ③不変-距離大群(9, 8.0%), ④不変-距離小群(32, 28.3%), ⑤増大群(14, 12.4%)。